

養育費調停について

1 養育費調停とは

離婚後に父母間で子供(未成年者)の養育費についての話し合いがまとまらない場合などに、家庭裁判所の調停手続を利用することができます。調停手続では子どもの養育費の額や支払方法について話し合うことができます。この手続は非公開で行われます。

2 養育費調停の申立て

養育費調停を申し立てるためには、申立書を作成して家庭裁判所に提出する必要があります。原則として、対立する当事者(相手方)が実際に居住している地域にある家庭裁判所に申し立てます。詳しいことは最寄りの家庭裁判所にお尋ねください。

申立てのためには、原則として、次の(1)から(5)が必要となります。(6)から(8)については調停の進行上参考にしますので質問にご回答の上、申立書と一緒に提出してください。

- (1) 収入印紙(未成年者1人につき1200円分)
- (2) 郵便切手(100円2枚、84円10枚、10円10枚、合計1140円。山口県外へ申立てをする場合は申立先の家庭裁判所で確認してください。)
- ※ 収入印紙及び郵便切手は裁判所では販売していません。郵便局等で購入してください。
- (3) 申立書(申立人の認印が必要です)及びそのコピー
- (4) 未成年者の戸籍謄本1通
- (5) 未成年者の父母それぞれの収入が分かる資料(源泉徴収票、所得証明書、確定申告書、3か月分程度の給与明細書等)の写し1通
- (6) 事情説明書
- (7) 送達場所等の届出書(口変更届出書)
- (8) 進行に関する照会回答書

3 注意事項

- (1) 裁判所に提出する書類は、相手方が見る可能性があります。
別添「調停・審判手続における情報管理・書面提出について」を必ずお読みください。
- (2) マイナンバーの記載された書類を提出しないようにしてください。

い。

別添「マイナンバーの取扱いについて」を必ずお読みください。

4 養育費調停手続の進め方

通常は申立後約2週間以内に申立人と相手方に家庭裁判所から調停の期日が通知されます。家庭裁判所にきていただく初回の期日は、通常は申立てから1か月程度先となります(別紙の「婚姻費用分担、財産分与、養育費、面会交流、親権者変更等 調停手続の流れ」を参照)。

調停は、原則として裁判官及び民間の有識者の中から選ばれた家事調停委員2名(男女各1名)が調停委員会を構成して手続を進めますが、通常、期日では家事調停委員2名だけで話を伺います。申立人と相手方から交互に話を伺いますが、双方同席の上で話を伺うこともあります。

5 調停で決まったことを相手方が守らないとき

相手方に守るよう促す履行勧告の申出を家庭裁判所にすることができます。また、調停調書正本等に基づき地方裁判所に強制執行の申立てをすることもできます。

6 調停で話し合いがまとまらなかったとき

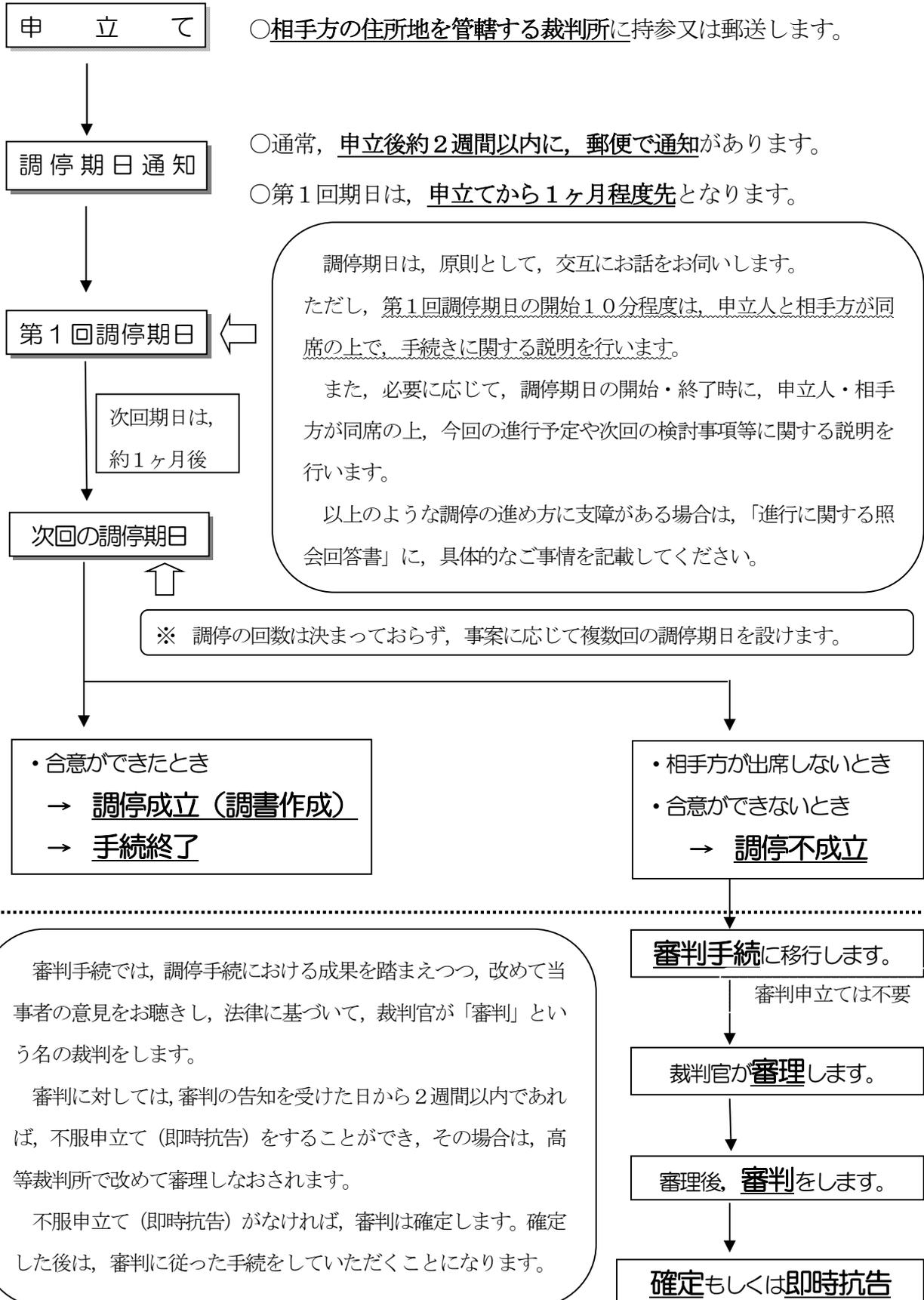
相手方がどうしても調停に出席しないときや話し合いがいつまでも平行線をたどり合意ができず調停が不成立になった場合には自動的に審判手続が開始され、裁判官が一切の事情を考慮して審判をすることになります。なお、審判の結果が納得できない場合には、不服の申立て(即時抗告)ができます。

7 分からないことがあったとき

手続面については担当の書記官がお答えしますが、養育費がどのくらいもらえるのかといった調停の見通しについては、家庭裁判所ではお答えできませんので、弁護士等にご相談ください。

調停手続の流れ

(一般的な流れを示したものです。)



事情説明書（養育費）

この書面は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には自由に記入して、申立ての際に提出してください。

また、収入に関する資料も提出してください。

この用紙は相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可される場合があります。

<p>1 この問題でこれまでに家庭裁判所で調停や審判を受けたことがありますか。</p>	<input type="checkbox"/> ある。(□平成/□令和) 年 月 頃 家裁 支部 <input type="checkbox"/> 今も続いている。 申立人の氏名 _____ <input type="checkbox"/> すでに終わった。 事件番号 (□平成/□令和) 年 (家) 第 _____ 号 <input type="checkbox"/> ない。						
<p>2 養育費支払についての相手方の意向について記入してください。</p>	<input type="checkbox"/> 支払/□減額/□増額すること及びその支払額についても了解している。 <input type="checkbox"/> 支払/□減額/□増額することは了解しているが、その額について争いがある。 <input type="checkbox"/> 支払/□減額/□増額することを了承しない。 <input type="checkbox"/> その他						
<p>3 それぞれの同居している家族について書いてください(本人を含む。)</p>	申立人(あなた)		相手方				
	氏名	年齢	続柄	職業等	氏名	年齢	続柄
<p>4 それぞれの収入はどのくらいですか。</p>	<input type="checkbox"/> 年収(税込総額) 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 月収(手取り) 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 賞与(年 回) 計約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 _____ 万円	<input type="checkbox"/> 年収(税込総額) 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 月収(手取り) 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 賞与(年 回) 計約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 _____ 万円					
<p>5 住居の状況について記入してください。</p>	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸(賃料月額 _____ 円) <input type="checkbox"/> その他(_____)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸(賃料月額 _____ 円) <input type="checkbox"/> その他(_____)					
<p>6 財産の状況について記入してください。</p>	<input type="checkbox"/> ある。 <input type="checkbox"/> 不動産(□土地□建物) <input type="checkbox"/> 借金 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 預貯金 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない。	<input type="checkbox"/> ある。 <input type="checkbox"/> 不動産(□土地□建物) <input type="checkbox"/> 借金 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> 預貯金 約 _____ 万円 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない。					
<p>7 この調停を申し立てた理由などを書いてください。</p>	<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>						

令和 年（家）第 号

送達場所等の届出書（□変更届出書）

- ※ 該当する□をチェックし、記入欄に記入してください。
- ※ この書面は相手に見られる可能性があります。相手に見せないことを希望される場合には、「非開示希望届出書」を添付する必要があります。
- ※ この届出に基づいて特別送達でお送りした郵便物は不在等の理由で受領されなかった場合も、法律上その書面を受領したものと扱われます。

1 送達場所

標記の事件について、私に対する書類の送付・送達は次の場所宛にしてください。

(1) 送達場所

申立書記載の住所

次の場所

〒 _____
_____ (_____ 方)

(2) あなたと送達を受けるべき場所との関係

住所 就業場所（勤務先）

その他（具体的に記載して下さい。）

(3) (1)の場所にあなたが住んでいない場合、その場所で書類を受け取る人

受取人を届け出た場合、受取人宛に郵便を発送しますので、受取人にその旨連絡してください。

受取人氏名 _____

あなたとの関係 _____

2 平日昼間(8:30~17:00)の連絡先（①から③の順に電話をかけます。）

	電話番号	裁判所を名乗ること	時間帯（※）
①	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :
②	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :
③	— —	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 否	: ~ :

※ 電話を受け取れる可能性の高い時間を記載してください。

3 上記1以外の連絡先（郵便の送付先）は下記のとおりです。

〒 _____
_____ (_____ 方)

山口家庭裁判所 御中

令和 年 月 日

氏名： _____ 印

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。あてはまる事項にチェックをつけ(いくつでも可)、空欄には自由に記入して、申立ての際に提出してください。この用紙を相手方に見せることはありません。

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他				
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思えますか。	<input type="checkbox"/> 応じると思う。 <input type="checkbox"/> 応じないと思う。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 意見があまりにも食い違っているから。 <input type="checkbox"/> 本気で解決する気持ちがないから。 <input type="checkbox"/> 裁判所で解決する気持ちがないから。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 分からない。				
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 <input type="checkbox"/> 進められないと思う。(理由にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的になっているから。 <input type="checkbox"/> 意見があまりにも食い違っているから。 <input type="checkbox"/> 相手方の性格に問題があるから。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 分からない。				
4 この申立てをすることを相手方に伝えてありますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。				
5 相手方の暴力について記入してください。	1 相手方について暴力の心配はありますか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ※1で「ある」と回答した方は次の2～5にも回答して下さい。 2 相手方からの暴力はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 身体的暴力 <input type="checkbox"/> 精神的暴力 <input type="checkbox"/> 性的暴力 3 相手方の暴力で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 4 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。 <input type="checkbox"/> はい→保護命令は出ましたか。 <input type="checkbox"/> はい(保護命令決定書謄本のコピーを提出してください。) <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> いいえ 5 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるう心配はない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるう心配がある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> その他 ()				
6 現在治療中の病気がありますか。	<input type="checkbox"/> 申立人(病名)) <input type="checkbox"/> 相手方(病名)) <input type="checkbox"/> 子ども(名前) 病名)				
7 調停進行に関して裁判所への要望があれば記入してください。					
8 調停期日の差し支え日等があれば書いてください。(調停は平日しか行われていません。)	差し支え日 曜日 午前 ・ 午後 (すでに差し支えることがわかっている日→)				
9 職業及び勤務先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="416 1977 678 2022">職業</td> <td data-bbox="678 1977 1522 2022">勤務先</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 2022 678 2128">〒 ー</td> <td data-bbox="678 2022 1522 2128">名称 電話</td> </tr> </table>	職業	勤務先	〒 ー	名称 電話
職業	勤務先				
〒 ー	名称 電話				